

第一内科（消化器内科，神経内科）

【当科でローテーションしたら-これが売り！！】

<消化器内科研修> <2か月の例>

1. 日常診療でよく遭遇する腹痛、嘔気、嘔吐、下痢、便秘などの消化器主要症候への対応をマスターします。(30例以上)
2. 上部・下部消化管出血、消化性潰瘍、胆道系感染、膵炎、閉塞性黄疸などの消化器疾患に対する急性期対応をマスターします。(20例以上)
3. 腹部CT・MRI画像読影の基本をマスターします。(30例以上)
4. 腹部エコー操作の基本をマスターします。(30例以上)
5. 静脈留置針による静脈確保 (20例以上)
6. 静脈血採血 (30例以上)
7. 動脈血ガス (20例以上)
8. 中心静脈確保 (5例以上)
9. 腹水穿刺 (5例以上)

<神経内科研修>

自ら医療面接、身体診察、神経診察を行い、臨床推論に基づいて検査計画を立案し、common disease、killer disease を診断できる力を身に着ける。循環・呼吸、栄養管理などの全身管理も学べ、幅広い基本診療技術を習得できる。

<2か月の例>

1. 医療面接から疑わしい疾患を列挙し、closed question で絞り込み、神経診察で障害部位を同定し、感度、特異度、尤度比の高い所見で鑑別する診断プロセスを身に着ける。(10例以上)
2. 日常診療でよく遭遇する頭痛、しびれ、めまい、てんかん、認知症、脱力、意識障害などの主要症候、内科疾患に併存する神経障害への対応をマスターします。(各1例以上)
3. 脳血管障害、脳炎、髄膜炎、てんかんなどの神経疾患に対する急性期対応をマスターします。(各1例以上)
4. 頭部CT・MRI画像読影の基本をマスターします。(10例以上)
5. 電気生理検査（神経伝導速度検査、針筋電図検査）の基本を理解します。(1例以上)
6. 動脈血ガス (1例以上)
7. 中心静脈確保 (1例以上)
8. 腰椎穿刺 (1例以上)

【専門研修に向けて】

<消化器内科研修>

1. 上部消化管内視鏡研修 10 例以上

<神経内科研修>

神経の9疾患領域：①脳血管障害，②感染・炎症，③脱髄・免疫性疾患，④末梢神経・筋疾患，⑤変性疾患，⑥認知症，⑦てんかん・頭痛，⑧自律神経・脊椎脊髄・腫瘍，⑨代謝・内科疾患に伴う神経障害から5領域以上，各領域で1症例以上を主治医として経験できるようにアレンジします（外来症例を含める）。自ら研修手帳でチェックして，経験が必要な疾患をリストアップして研修に臨んでください。神経内科専門医を目指す専攻医には，初期研修の時期からサブスペ専門研修要件を満たすために必要な疾患が集積できるように配慮します。

専門研修連携施設からの研修相談に親身に応じます。

一般目標

日常診療で頻繁に遭遇する消化器疾患，神経疾患に適切に対応ができるように，入院患者の受け持ちと外来診療によって基本的な臨床能力（態度，技能，知識）を身に付ける。

<消化器疾患>

行動目標

1. 身体所見，検査所見，放射線検査所見の異常から消化管，肝，胆，膵臓疾患を発見できる。
2. 上部消化管出血の早期発見と管理ができる。
3. イレウスの診断と治療ができる。
4. 大腸炎の診断と治療ができる。
5. 肝不全の管理ができる。
6. 経管栄養の管理ができる。
7. 消化器専門医に適切に紹介できる。

チェックリスト

知識：

1. 腹痛をきたす疾患の鑑別ができる。
2. 黄疸をきたす疾患を鑑別できる。
3. 肝機能検査の異常を発見できる。
4. 大腸炎をきたす疾患を鑑別できる。

技能：

1. 経鼻胃管の挿入ができる。

2. イレウス管の挿入ができる。
3. 胃洗浄ができる。
4. 食道バルーンタンポナーデによる止血操作ができる。
5. 内視鏡検査による上部消化管の観察ができる。
(指導医の直接の指導において)
6. 腹部超音波検査による腹部実質臓器の観察ができる。
(指導医の直接の指導において)
7. 注腸，高圧浣腸ができる。
8. 腹腔試験穿刺ができ，ドレナージができる。
9. インターネットを使用し文献検索ができる。
10. 症例提示と討論ができる。

詳しい検査をオーダーする能力：

1. ヘリコバクター，ピロリ菌の検査
2. 上部消化管内視鏡検査，生検
3. 下部消化管内視鏡検査，生検
4. ERCP
5. 腹部超音波検査
6. 腹部 CT 検査，MRI 検査
7. 腹腔鏡，肝生検
8. 消化管吸収試験
9. 肝炎ウイルス検査
10. 便寄生虫検査
11. 消化管 X 線検査
12. 経皮的胆管造影検査

<神経疾患>

行動目標

1. 身体所見から中枢神経，末梢神経，筋の疾患を発見できる。
2. 神経学的診察ができ，所見の解釈ができる。
3. 神経内科専門医，脳神経外科専門医に適切に紹介できる。

チェックリスト

知識：

1. 頭痛をきたす疾患を鑑別できる。
2. 意識障害をきたす疾患を鑑別できる。
3. 歩行障害・運動障害をきたす疾患を鑑別できる。
4. 言語障害をきたす疾患を鑑別できる。

5. 記憶障害をきたす疾患を鑑別できる。
6. てんかん発作を起こす疾患を鑑別できる。
7. しびれ、めまいをきたす疾患を鑑別できる。

技能：

1. 神経学的診察ができ、所見の解釈、病巣診断ができる。
2. 腰椎穿刺ができ、髄液圧を測定できる。
3. 頭部 CT, MRI の所見を読影できる。
4. 意識障害、てんかんの初期対応ができる。
5. 適切に診断、治療ガイドラインを利用できる
6. インターネット等を使用し文献検索ができる。
7. 症例提示と討論ができる。

詳しい検査をオーダーする能力：

1. 抗てんかん薬、免疫抑制薬の血中濃度測定
2. 頰動脈ドップラーエコー
3. 頭部 CT 検査, MRI 検査
4. 脳血流シンチグラフィ
5. 脳血管造影検査
6. 脳波検査
7. 筋電図, 神経伝導速度検査
8. 筋生検
9. ミエログラフィー
10. 毒物, 重金属のスクリーニング
11. 睡眠障害検査

研修方法

1. 主に入院患者を数名担当し、上級医、指導医とともに診療に当たる。
2. 上級医の指導の下に外来患者の診療に参加する。
3. 総回診あるいはケース・カンファレンスで症例提示を行う。
4. 病棟看護スタッフに担当患者の診断及び治療方針について説明する。
5. 担当した患者に関する文献をインターネット等で検索し、科学的に吟味してカンファレンスで紹介し討論する。

指導医

飯島克則, 神 万里夫, 後藤 隆, 菅原正伯, 大嶋重敏, 松橋 保, 志賀永嗣, 佐藤 亘, 大場麗奈, 鎌田幸子

第一内科ホームページ：

<http://www.med.akita-u.ac.jp/~naikal/>

消化器内科についてのご質問は、

神 万里夫

mail : jin@doc.med.akita-u.ac.jp

TEL : 018-884-6104 FAX : 018-836-2611

神経内科についてのご質問は、

菅原正伯

mail : masashir@gipc.akita-u.ac.jp

TEL : 018-884-6104 FAX : 018-836-2611

週間スケジュール

< 消化器内科 >

	月	火	水	木	金
8:30	回診	回診	回診	回診	回診
9:30	外来・検査	外来・検査	外来・検査	新患外来・検査	外来・検査
12:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:00	入院報告	病棟	病棟	病棟	病棟
14:00	総回診	検査・治療	検査・治療	検査・治療	検査・治療
15:00					
16:00	病棟	病棟	病棟	病棟	肝臓カンファランス
17:00	内視鏡カンファランス				
18:00	医局会	食道カンファランス			
19:00		消化器画像カンファランス			

< 神経内科 >

	月	火	水	木	金
8:30	回診	回診	回診	回診	回診
9:30	新患外来・外来検査	新患外来・外来検査	外来検査・神経回診	外来検査	新患外来・外来検査
11:30	病棟	病棟	病棟・神経カンファランス	病棟	病棟
12:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:00	入院カンファランス	病棟	外来検査	病棟	病棟
15:00	総回診		筋電図検査		
16:00	外来検査		ボツリヌス毒素治療		
17:30	医局会				
18:30	神経カンファランス				
19:00					